

一次治療としてのARTは 患者の特性に基づいて選択

- 患者の準備性とアドヒアランスに対する障壁
- 費用、薬物毒性および薬物相互作用の可能性
- ベースラインのCD4陽性細胞数、ウイルス量およびHLA-B*5701保有の有無
- 妊娠可能な年齢の女性における妊娠の有無と今後妊娠する可能性
- 併存疾患（心血管疾患、肝疾患、腎疾患、HBVやHCVの重感染、精神障害、薬物依存など）
- ウイルス耐性検査の結果（可能な場合）